

耐震診断結果の見方について

- ① 「耐震診断の方法の名称」を確認し、「附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価」の中で「耐震診断の方法の名称」が同じ欄を見ます。
- ② 「評価の結果」の数値が、附表のどの部分に当てはまるかを確認します。係数Z、G、Uについては、附表の下段を参照。
- ③ 当てはまる欄の上部に「安全性」の評価（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）が記載されていますので、その内容を確認してください。
- ④ 備考欄には、補足事項を記載してあります。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果

番号	建物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
3	〇〇ビル	玉野市 〇〇〇	〇〇〇	① 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」（2017年版）	② $I_s/I_{s0}=0.41$ $C_{tu} \cdot S_d=0.23$			

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	③ 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（2001年版、2017年版）	$I_s/I_{s0} < 0.5$ 又は $C_{tu} \cdot S_d < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{s0}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{tu} \cdot S_d$

- Ⅰ. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- Ⅱ. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- Ⅲ. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

(※) 震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

(※) 特記無い限り、Z=0.9、G=1.0、U=1.0、Rt=1.0